

5 添付ファイル自動 ZIP 暗号化の利用

1. HOME-UNIT3 の添付ファイル自動 ZIP 暗号化について

HOME-UNIT3 ご利用環境下の端末から送信された添付ファイル付きメールを自動的にパスワード付きの ZIP ファイルとして暗号化することができます。

2. 添付ファイル自動 ZIP 暗号化の動作環境

ご利用中のアプリケーションや環境によっては、利用制限が発生する可能性があります。

①ポート 25/587 を使用した SMTP の平文での通信のみが本機能の対象です。SSL/TLS を利用した暗号化通信を使用している場合や STARTTLS 通信を利用の場合には、カスタマイズが必要となります。詳細は後述のカスタマイズ項目「③暗号化された SMTP 通信への対応」をご確認ください。設定を希望の場合は、HOME コンタクトセンターにご相談ください。

②Gmail や Yahoo Mail などの Web メール環境、Microsoft Exchange 環境では利用できません。

③SMTP 認証において、PLAIN 及び LOGIN 以外の特殊な認証方式を用いた環境では利用できません。また、CRAM-MD5/DIGEST-MD5 を利用の場合は、お客様の端末の設定変更をする必要があります。

④特殊な文字コードを利用している場合や添付ファイルの種類によっては、暗号化された添付ファイル及びメール本文に文字化けが発生する可能性があります。

⑤IPv6 を利用して送信されたメールについては、本機能は動作しません。

制限事項の詳細は、ホワイトペーパー「HOME-UNIT3 添付ファイル自動 ZIP 暗号化サービス」もご確認ください。

ホワイトペーパー: <https://hmbx.canon.jp/agreement/index.php/wp-unit>

3. パスワードメール

添付ファイルが暗号化されると送信者のメールアドレス宛に、暗号化された添付ファイルのパスワード情報が送信されます。

先ほど送付したメールの添付ファイルはメールシステムにより自動暗号化されました。
パスワードは下記になりますので送信先に連絡してください。
The attachment file of the mail sent earlier was automatically encrypted by the mail system.
Please contact the receiver as the password will be below.

送信元: example@example.jp

送信日時:
Tue, 20 Feb 2018 11:33:20

暗号化後のファイル名:
20180220113320.zip

パスワード (8文字)
icM.iV.P

※宛先に自動追送することも可能です。

4. 件名キーワードによる除外機能

件名の先頭に「;」(半角セミコロン)が付与されている場合には、除外設定の有無に関わらず、添付ファイルの暗号化は実施されません。

なお、暗号化除外文字には任意の文字を設定が可能です。詳細は後述のカスタマイズ項目⑥「暗号化除外文字の任意設定」をご確認ください。

5. カスタマイズ項目

次の項目のカスタマイズが可能です。カスタマイズが必要な場合には、HOME コンタクトセンターまでご連絡ください。

①添付ファイル自動 ZIP 暗号化除外設定

特定のメールアドレスおよびドメインを指定することで本機能の除外設定(ホワイトリスト)が利用できます。

除外設定が可能な項目は以下となります。

- 同一ドメイン除外設定
送信者と同一ドメイン宛のメールをすべて除外する設定
- 送信元除外設定
送信元のメールアドレスや、ドメインで除外する設定
- 宛先除外設定
宛先のメールアドレスや、ドメインで除外する設定
- 送信元 IP アドレス除外設定
送信元の IP アドレスで除外する設定。

※送信元除外設定に設定されたメールアドレスおよびドメインに送信者のメールアドレスが完全一致した場合に、添付ファイル暗号化対象から除外されます。

※デフォルト設定では、同報送信時の宛先に一人でも暗号化対象者が含まれる場合、一律に暗号化されたファイルが送付されます。
ホワイトリスト登録等、暗号化除外者に対して暗号化しない設定を希望する場合、HOME コンタクトセンターにご相談ください。

※複合機の SMTP を使用したメール送信機能(スキャンしてメール送信/I-FAX)を利用する場合、送信したメールが暗号化され、パスワードメールが未達となるため利用が困難となります。

当該機能利用時には HOME コンタクトセンターに複合機のメールアドレスをご連絡ください。

※送信元 IP アドレス除外設定は、添付ファイル自動 ZIP 暗号化だけでなく誤送信防止機能にも自動的に適用されますので、ご注意ください。

②パスワードメール自動送信設定

添付ファイル自動暗号化実施時に、パスワードメールを自動的に宛先または送信者、あるいは宛先と送信者の両方のメールアドレスに対して送信する設定が可能です。

※デフォルト設定では、パスワードは追送されません。お客様にて受信パスワード情報を宛先メールアドレスに送信してください。

③ファイルサイズ上限到達時動作

添付ファイルのサイズ上限到達時に、メールを送信しない設定が可能です。

※デフォルト設定では、添付ファイルのサイズ上限到達時には添付ファイルの暗号化を実施せずにメールが送信されます。

④WINMAIL.DAT 添付時の動作

「Microsoft Outlook」の仕様にて「受信したメールに添付されているはずのファイルが見つからない、または WINMAIL.DAT という名前のファイルが添付される(※1)(※2)」という不具合が報告されています。

HOME-UNIT3 では、当該メールを破棄し差出人に通知する設定が可能です。デフォルトの設定では、当該事象が発生し、不具合により添付された WINMAIL.DAT ファイルがメールに含まれる場合、「WINMAIL.DAT ファイル及び、当該メールに添付されたファイルを暗号化して送信します。ただし、この際に、暗号化された WINMAIL.DAT ファイルと添付ファイルはパスワードでの復号が出来ませんのでご注意ください。

※1: Microsoft 社の報告では、当該事象の発生条件は以下となります。

- ・送信メーラに「Outlook」を使用している
- ・メールフォーマットに「リッチテキスト」を使用している
- ・メール内容が以下に該当する
 - 「リッチテキスト」特有の書式を使用(投票ボタン等)
 - Outlook の特定条件(仕様が開示されていないため、詳細不明)

※2: Microsoft 社の情報を併せてご参照ください。

⑤暗号化された SMTP 通信への対応

お客様の端末とメールサーバ間の通信に 465 ポートを利用した SSL/TLS による暗号化通信を使用している場合は、HOME-UNIT3 本体設定変更にて SSL インспекション機能を有効化し、クライアント端末に証明書をインポートした上でメールの設定変更することで、添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能を利用できます。

また、587 ポートを使用した STARTTLS 通信に対応したメールサーバを使用の場合は、HOME-UNIT3 の本体にて STARTTLS 機能を有効化し、クライアント端末でご利用のメールの設定を平文に変更することにより、添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能を利用できます。

※HOME-UNIT3 の STARTTLS 機能を有効にした場合、メール側の設定が STARTTLS のままになっている場合はメール送信が不可能となります。

※証明書のインストールや各種設定作業はお客様ご自身で実施いただきます。

設定方法の詳細は「クイックガイド(添付ファイル自動 ZIP 暗号化編)」をご参照ください。

HOME-UNIT4/3/2 管理者向けヘルプ：

https://hmbx.canon.jp/help9a/index.php/unit2_admin

本機能を有効化した場合、推奨ユーザー数の低減や通信速度の低減が見込まれます。

HOME-UNIT3 の設定変更につきましては HOME コンタクトセンターにご相談ください。

⑥パスワード付ファイルに対する動作

予めパスワードが設定された ZIP ファイルや Office 文書(Word、Excel、PowerPoint 等)のみが添付されたメールについては、本機能が適用されずにそのまま送信されます。

⑦暗号化除外文字の任意設定

暗号化除外文字はデフォルトの設定である「;(半角セミコロン)」以外に、以下の 3 種類の設定を選択できます。

- ◆「:(半角コロン)」
- ◆「,(半角カンマ)」
- ◆任意文字列(1~7 文字の任意文字列)
- ◆設定しない(件名先頭に暗号化除外文字が含まれる場合でも全ての添付ファイルが ZIP 暗号化されます)

⑧暗号化除外文字の自動削除設定

件名につけられた暗号化除外文字を自動的に削除した上でメールを送信することができます。

⑨HTML 形式メールに埋め込まれた画像の非暗号化設定

HTML 形式メールに埋め込み画像が含まれる場合、デフォルトの設定では添付ファイル自動 ZIP 暗号化機能で、埋め込まれた画像を ZIP 暗号化します。HTML 形式メールの埋め込み画像を自動で暗号化しない設定を選択することも可能です。

以上

- Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 8.1/10、Exchange、Microsoft OFFICE、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc. の商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

ご不明な点がございましたら、

HOME コンタクトセンター (フリーダイヤル) **0120-188089**

まで、お問い合わせください。